

平成30年度 第7回酒田市元気みらいワークショップ



あなたの「思い」を形に・・・アイデアを酒田市の事業へ反映

元気みらい ワークショップ 事業提案発表会

さまざまな立場の市民やまちづくりの担い手が一緒に話し合い、その思いを形にして市の施策へ反映するためのワークショップ。これまで6回開催してきました。

今回7回目は、市長にその集大成である事業提案のプレゼンテーションを行う、発表会です。

日時 平成30年10月13日(土)14:00~17:00

場所 希望ホール 3F 小ホール

発表者 公募に申し込んでくださった15名の方々(第7回は5名欠席で10名参加)

阿曾 静香	Webライター	齋藤 大鳳	酒田光陵高校
佐藤 貴伸	介護サービス	小野 光輝	酒田光陵高校
芦野 秀樹	東北公益文科大学	加藤 由香	自営業
田名部 要	東北公益文科大学	阿部 彩人	地域おこし協力隊
村上 慈	会社員	渡部 由佳	地域包括支援センター
本間 駿介	スケボースクール	佐藤 多紀子	NPO法人
高橋 愛梨	酒田光陵高校	堀 薫	農業
高橋 美優	酒田光陵高校		

コメンテーター

丸山 至	酒田市長
江口 直	特定非営利活動法人 元気王国 クラブマネージャー
伊藤 和美	特定非営利活動法人 明日のたね 代表理事
村 紀明	庄内交通株式会社 代表取締役社長
佐藤 武	湯の台温泉 鳥海山荘 鳥海高原地区統括支配人
坂本 由美子	山形新聞社 酒田支社 編集部長

ファシリテーター 遠藤智栄 氏

仙台市在住。東北各地でまちづくりやNPO活動、ワークショップ等を支援。

発表者、コメンテーターの紹介のあと、ファシリテーターの遠藤さんから、元気みらいワークショップの趣旨・これまでの活動経過、本日の発表会の進め方について説明がありました。

■ 元気みらいワークショップの趣旨、経過



① この事業の趣旨、経過

■ 元気みらいワークショップの目的
さまざまな立場の市民、まちづくりの思いが一緒に話し合い、その「思い」を市の事業へ反映させることです。また、お互いの意見を尊重しながら話し合うプロセスを大切に、市民参画の手続きを広げていくことも目的の一つです。

元気みらいワークショップはこんな場所です

① 実現	② 協働	③ 市民参画の広がり
市の施策へ反映	さまざまな立場の力の思いを市の事業へ反映するため話し合う場	多様なまちづくりの思いが一緒に話しあえる場（行政、市民、地域団体、各種団体、事業者、専門家など）
協働 多様な声と一緒に	広がり 7つのテーマを活かす	ファシリテーションの手続きを体験し、自分の活動へ活かすための場

◆これまでのワークショップの様子 第1回

日程 6/16(土) 14:00~16:30
会場 市役所7階 703会議室
主な内容
・自治体運動力の醸成
・運動のいいところ、気になっていること

◆これまでのワークショップの様子 第2回

日程 7/7(土) 14:00~16:30
会場 市役所7階 703会議室
主な内容
・興味のあるテーマを探求し、チームづくり
・事例の紹介など

◆これまでのワークショップの様子 第3回

日程 7/28(土) 14:00~16:30
会場 市役所7階 703会議室
主な内容
・チームごとに提案テーマの検討
・レクチャー：提案や政策を提案する時のポイント

◆これまでのワークショップの様子 第4回

日程 8/11(土) 14:00~16:30
会場 市役所7階 703会議室
主な内容
・提案テーマの検討

◆これまでのワークショップの様子 第5回

日程 9/8(土) 14:00~16:30
会場 市役所7階 703会議室
主な内容
・テーマに関する部署の職員からヒアリング
・チームごとに検討

◆これまでのワークショップの様子 第6回

日程 9/24(月) 14:00~16:30
会場 市役所7階 703会議室
主な内容
・チームごとに提案の最終検討
・発表の準備

■ 本日の発表会の進め方

- (1) 各チームの事業提案を発表 4テーマ×20分
※ チーム発表ごとにコメンテーターから質問や意見をいただきます
～休憩 10分～
- (2) ポスターセッション 20分
※ 会場後方に4テーマのポスターを掲示、ポスターの前で質疑応答や意見交換をします。
- (3) 昨年度の提案事業の状況紹介
- (4) 参加者のふりかえり、一言
- (5) 市長あいさつ



■ 事業提案発表

いよいよ、各チームのプレゼンテーション開始です。（提案内容は、別添資料をごらんください）

1. 若者の居場所を作りたい！「ニュースポーツで、若返れ酒田！」

発表者：佐藤貴伸さん、本間駿介さん、小野光輝さん、（齋藤大鳳さん）



2. 子育てしている人、していない人、これからする人が、しあわせに暮らせる酒田市

発表者：加藤由香さん、佐藤多紀子さん、堀薫さん（阿曾静香さん）



3. バスがツナグ・学生がツナガル

発表者：芦野秀樹さん、高橋愛梨さん、（村上慈さん）



4. 酒田市・旧三町（八幡・松山・平田）「酒田さとやま」観光プロジェクト

発表者：田名部要さん、高橋美優さん、（渡部由佳さん）、（阿部彩人さん）



【コメント総括】

各チームの提案・各コメント終了後、丸山市長より総括としてコメントがありました。

「きわめて具体的な事業が提案されている。大変参考になった。スポーツ、子育て支援、バス、旧三町地域（および飛島）。これらは、市長になってから、自分がやりきれないと感じていた懸案で、それがすべて提案として上がっている。」

スポーツ／施設もそうだが、ニュースポーツも含め酒田で広めたいスポーツの絞り込み、普及させる仕掛けが行政側に足りない。担当のスポーツ振興課と少し詰めていきたい。市のスポーツ施設も古くなってきている。子育ての方とも関わってくるが、スポーツ公園的なものの整備もしたいと思っている。参考にして議論していきたい。

子育て／本当にいい提案。特にパンフレット、健康福祉部長は断言はしていなかったが、そんなにお金がかかるわけでもないし、是非やってみたいと思います。会社を巻き込んだ子育て、やってみるには市役所はいい環境だと思う。やれるかどうか検討したい。公園の関係、飯森山については建設部長も言ったとおり現在整備中。スロープも設置予定。遊具も整備する。標識も、大きくよく見えるものにして、見やすくなればいいと思っている。アスレチックは光ヶ丘にある。光ヶ丘公園、日和山公園、飯森山公園、それぞれ役割分担しながら子どもが楽しめる公園にしたい。

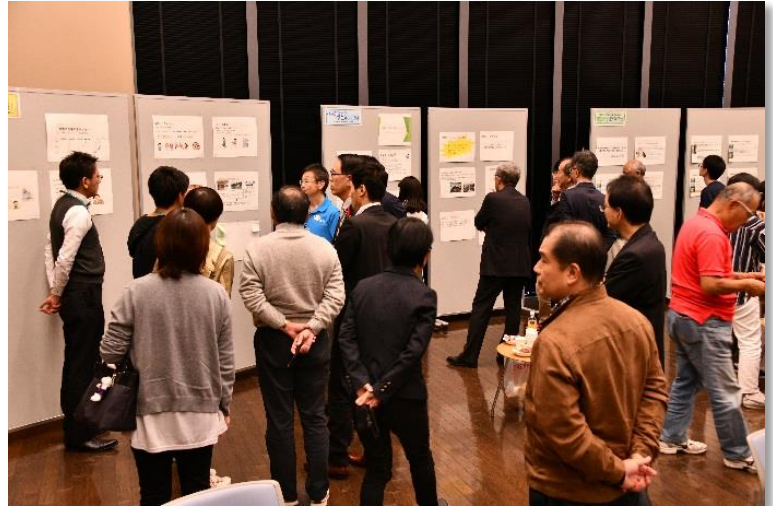
バス／時間については公益大・（光陵）高校の授業に合致した調整をしていきたい。自転車が乗せられるバス、初めて聞いたが面白いと思った。民間の交通事業者で実現できるか相談したい。

自然／合併して10年たつが、いまだに市街地と旧町、その枠組みの中で物事を考えてしまっているなどと思った。観光、外から人を呼び込むにはその枠組みにとらわれる必要はない。是非酒田の魅力発信の素材としての里山地域、テーマもそばとか歴史文化とかエリア横断的に考えることが必要だと思う。ハッシュタグ活用も若い人ならではのアイデア。さっそく観光部局と詰めてみたい。ツーリズム、いいアイデアだが、誰が、どの組織がそれをするのか、組織作りがまず先か。



■ ポスターセッション

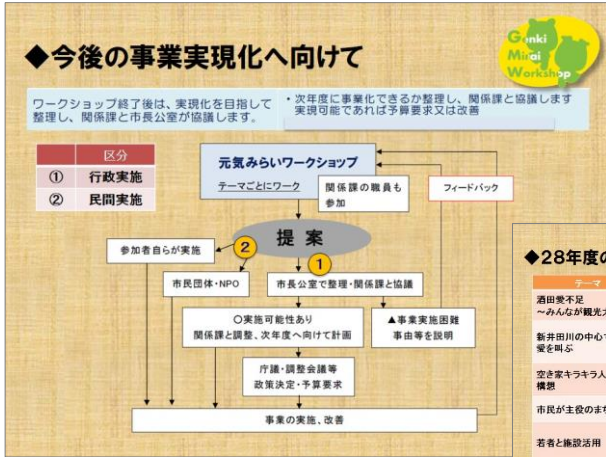
事業提案のあと、各チームの提案ポスターを前に、「発表者」と「コメンテーター」と「発表会を見に来てくれた方」が一緒になって、ポスターセッションを行いました。



発表中にメモした付箋を貼りながらの意見交換。異なる視点や同じ悩みを抱える人の声など、さまざまな意見が飛び交いました。事業の種が更に大きく成長しているようでした。

■ 昨年度の提案事業の状況紹介

今回の発表会での事業提案をうけたあと、どのような流れで事業が実現してゆくのかの説明と、昨年度と初年度の提案事業の現在の状況が紹介されました。



◆28年度の提案事業の状況紹介

テーマ	提案内容	実現・反映状況
酒田愛不足 ～みんなが観光大使～	・酒田市に観光大使として活躍する市民を募集する ・酒田市に観光大使として活躍する市民を募集する	・6が実施開始。10月からは、市民が観光大使として活躍する市民を募集する
空き家ナラキ人口増加 撲滅	・空き家ナラキ人口増加撲滅 ・空き家ナラキ人口増加撲滅	・空き家ナラキ人口増加撲滅 ・空き家ナラキ人口増加撲滅
市民が主役のまちづくり	・市民が主役のまちづくり ・市民が主役のまちづくり	・市民が主役のまちづくり ・市民が主役のまちづくり
若者と縁説活用	・若者と縁説活用 ・若者と縁説活用	・若者と縁説活用 ・若者と縁説活用
ITエンジニアの育成	・ITエンジニアの育成 ・ITエンジニアの育成	・ITエンジニアの育成 ・ITエンジニアの育成

◆28年度の提案事業の状況紹介

みんなが観光大使プロジェクト

新井田川活性化プロジェクト

◆29年度の提案事業の状況紹介

テーマ	提案内容	実現・反映状況
地域みんなで子育て	・地域みんなで子育て ・地域みんなで子育て	・地域みんなで子育て ・地域みんなで子育て
コミュニティセンターの 複活用を推進した地域力 アップ	・コミュニティセンターの 複活用を推進した地域力 アップ	・コミュニティセンターの 複活用を推進した地域力 アップ
文化の光プロジェクト	・文化の光プロジェクト ・文化の光プロジェクト	・文化の光プロジェクト ・文化の光プロジェクト
バスは都市の元気の 象徴！	・バスは都市の元気の 象徴！ ・バスは都市の元気の 象徴！	・バスは都市の元気の 象徴！ ・バスは都市の元気の 象徴！

◆29年度の提案事業の状況紹介

地域みんなで子育て
平日子育てコミセン活用事業 (H29・30年度)

①まっかつサロンがもたらした
②にこきらぶがもたらした

◆29年度の提案事業の状況紹介

バスは都市の元気の象徴！
バス交通ファンクラブ (H29・30年度)

①バス交通ファンクラブ開会 (12/17)
②QRコード決済システム導入開始 (10/1)

バスの待ち時間が
確認できます
携帯電話でQRコードを読み取ってください

your mobile device

■ 本日のふりかえり

本日の発表者全員から、元氣みらいワークショップ全体のふりかえりを、いただきました。



■ 市長あいさつ

4つのチームの皆さん、大変おつかれさまでした。

皆さんがワークショップの「ふりかえり」を、いきいきと、達成感をもって話されていたので、この事業をしてよかったなと思いました。

この事業を始めたきっかけは、市役所でやっていること（市政）が、市民の皆さんにとっての「他人事」ではなくて「自分の事」であるということ、そしてもっともっと市政を身近にしたいという思いから、3年前にはじめた事業です。

皆さん事業提案のために、職員の助言やいろいろな人の意見を聞いて、一生懸命自分の頭で考えて、自分なりに考えをまとめていったことと思います。誰かが、人が、考えたことをそのまま受け入れるのではなく、やはり「自分で考える」ということが大変重要なことだったと思います。

先ほど、過去2回の提案事業の状況の説明がありましたが、実施したものの方が多いです。すべての提案を実施できればいいな、という話がありましたが、基本的には「実施するために」このワークショップをやっているのです。いろいろなハードルはありますが、実施できる方向に詰めていきたいと思っています。ただ、施設をつくるという話となると非常にお金がかかるので、簡単にハイ作りましょうとはいかないわけですが、中長期の政策としては「こういったものが必要だ」という皆さんの声を受け止めて、認識して、上げていこうと思っていますので、安心してください。

酒田市は、こういった市民の皆さんとの対話で、ひとつひとつ事業、施策をつくっていききたいと思っていますので、今後とも、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



元気みらいワークショップ参加者のみなさま、5ヶ月間本当にありがとうございました。

ワークショップは終了ですが、ここから事業化に向けた調整などが始まります。その話し合いなどにも参加していただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。

以上